

# 国語(現代文)

## 東京大学 (前期・理科) 1/3

### <総括>

文科	出題数	現代文2題・古文1題・漢文1題	試験時間150分
理科	出題数	現代文1題・古文1題・漢文1題	試験時間100分

「知性」と「反知性」のあり方について論じた文章。昨年度は本文の抽象度が高かったが、今年度は比較的読みやすい内容であった。このため、解答の方向性を見定めやすい設問が多く、全体として易化したと言えるだろう。

### <本文分析>

大問番号	第一問
出典 (作者)	内田樹「反知性主義者たちの肖像」(同編『日本の反知性主義』、晶文社、2015年刊)
頻出度合 ・的中等	入試で頻繁に出題される著者である。
分量 前年比較	分量 <b>減少</b> ・変化なし・増加 約2500字。昨年よりも200字減。
難易 前年比較	難易 <b>易化</b> ・変化なし・難化

### <大問分析>

大問	ジャンル	設問	設問形式	難易度	コメント(設問内容・答案作成上のポイントなど)
一	文化論	(一)	記述	やや易	「そのような身体反応」が指す内容を踏まえつつ、それと「知の自己刷新」との関連を考えて説明する。
		(二)	記述	標準	「この人」が指す内容を的確にまとめつつ、「反知性主義」の特徴を念頭に置いて説明する。
		(三)	記述	標準	傍線部の「生きている」の内実を、本文全体からつかむことが求められている。
		(四)	記述	標準	傍線部を含む段落と次の段落の内容を踏まえ、「知性」の働きについて説明する。
		(五)	記述	標準	「この基準」が指す内容を押さえた上で、「反知性的」なあり方を本文全体を視野に入れつつ説明する。
		(六)	記述	標準	昨年度同様、三問の出題だった。

※難易度は5段階「難・やや難・標準・やや易・易」で、当該大学の全統模試入試ランキングを基準として判断しています。

### <学習対策>

様々なジャンルの評論を読み、そのテーマに関する理解を深めるとともに、文章の論理構造をしっかりと把握できるようにしたい。  
書くべき要素を的確に捉え、簡潔明解にまとめる練習をしておこう。

# 国語 (古文)

## 東京大学 (前期・理科) 2/3

### <総括>

文科	出題数	現代文2題・古文1題・漢文1題	試験時間150分
理科	出題数	現代文1題・古文1題・漢文1題	試験時間100分

オーソドックスな出題であった。

### <本文分析>

大問番号	第二問
出典 (作者)	『あきぎり』
頻出度合 ・的中等	時折見られる出典。この箇所の出題は稀。
分量 前年比較	分量 (減少・変化なし・増加) 約900字 前年より約130字増。
難易 前年比較	難易 (易化・変化なし・難化)

### <大問分析>

大問	ジャンル	設問	設問形式	難易度	コメント (設問内容・答案作成上のポイントなど)
第二問 (文科)	物語	(一)			
		エ	記述	やや易	現代語訳。
		オ	記述	易	現代語訳。
		キ	記述	やや易	現代語訳。
		(二)	記述	やや易	内容説明。
第二問 (理科)	物語	(三)	記述	やや易	現代語訳 (主語を補う)。
		(四)	記述	やや難	内容説明 (「こがれ」に注意して姫君の心情を考える)。
		(五)	記述	標準	和歌の説明 (大意を説明する)。
		(一)			
		イ	記述	やや易	現代語訳。
	ウ	記述	易	現代語訳。	
	オ	記述	やや易	現代語訳。	
	(二)	記述	やや易	内容説明。	
	(三)	記述	標準	和歌の説明 (大意を説明する)。	

※難易度は5段階「難・やや難・標準・やや易・易」で、当該大学の全統模試入試ランキングを基準として判断しています。

### <学習対策>

古文を読解する上で必要な知識項目を習得するとともに、文章を一語一語丁寧に読解する訓練をしておくこと。正確な現代語訳をするために、単語・文法の学習を厳密に行っておくことが大切である。また、解答を簡潔にまとめる練習や和歌の学習も必要。

# 国語 (漢文)

## 東京大学 (前期・理科) 3/3

### <総括>

文科 出題数	現代文2題・古文1題・漢文1題	試験時間150分
理科 出題数	現代文1題・古文1題・漢文1題	試験時間100分

例年通り文理共通問題であったが、本年は漢詩が出題された。昨年は理科では第二段落59字分が省略されていたが、本年は理科での省略はなかった。設問数は昨年は文科5題、理科4題であったが、本年は枝間を含めて文科6題、理科4題であった。昨年出題された空欄補充の設問は本年は出題されず、また昨年度同様、設問に関わる部分で返り点、送り仮名の省略もなかった。

例年通り、答案を作成する際に内容を適切にまとめるのは容易ではない。

### <本文分析>

大問番号	第三問	
出典 (作者)	蘇軾「寓居定恵院之東、雑花満山、有海棠一株、土人不知貴也」	
頻出度合 ・的中等	稀。	
分量 前年比較	分量 (減少・変化なし・増加) 文科は218字。昨年は203字 (昨年より15字増)。理科は218字。昨年は144字 (昨年より74字増)。	
難易 前年比較	難易 (易化・変化なし・難化)	

### <大問分析>

大問	ジャンル	設問	設問形式	難易度	コメント (設問内容・答案作成上のポイントなど)
第三問 (文科)	漢詩	(一)			
		a	記述	やや易	現代語訳。「空」に注意する。
		c	記述	やや易	現代語訳。前後の文脈に注意する。
		f	記述	標準	現代語訳。「那 (なんゾ)」に注意する。
		(二)	記述	やや難	内容説明。「海棠」を「佳人」にたとえていることに注意。
		(三)	記述	標準	内容説明。傍線部以降の内容に注意する。
		(四)	記述	標準	理由説明。直前の句の内容に注意する。
第三問 (理科)	漢詩	(一)			
		b	記述	やや易	現代語訳。前後の文脈に注意する。
		d	記述	標準	現代語訳。「那 (なんゾ)」に注意する。
		(二)	記述	やや難	内容説明。「海棠」を「佳人」にたとえていることに注意。
		(三)	記述	標準	理由説明。直前の句の内容に注意する。

※難易度は5段階「難・やや難・標準・やや易・易」で、当該大学の全統模試入試ランキングを基準として判断しています。

### <学習対策>

本格的な漢文の読解力が要求されているので、基本句形や重要単語の習得と十分な問題演習が必要である。加えて漢文の背景となる思想や歴史などの知識も学んでおきたい。

細心の注意を払って文脈を読み取り、簡潔で過不足のない答案を作成する訓練を怠らないこと。

漢詩もたびたび出題されるので、文科、理科ともに漢詩の対策も必須である。